

会員数(57・9月現在)  
 逗子地区 141名  
 葉山地区 287名  
 大船地区 67名  
 合計 495名

# 碩心会月報

社団法人 日本詩吟学院岳風会 認可  
 神奈川碩心会 発行

57・9月  
 第122号  
 発行 者  
 根 岸 岳 萃  
 編 村 集  
 中 杉 山 愛  
 杉 山 雪

## 私の思ひ

堀内支部B組

大石 春風

碩心会四十五周年記念大会が過  
 日盛大に行われました。立派な吟  
 詠を聞かせていただきながら、此  
 の機に心新たに更に吟道に励まな  
 ければと自介に言ひ聞かせており  
 ます。  
 ふりかえりますと、私が堀内教  
 場の門をくぐりましたのは十年以  
 と昔の事となります。初歩の頃自  
 分の吟ずる節まわしがなんともお  
 かしく、苦笑し、顔にも出せず困  
 った事がありました。又初舞台で  
 は足がガクガク、声はうわぶり、  
 大変恥かしい思いをしました。  
 先生方の御指導のおかげで、吟  
 詠に対する理解も多少できるよう  
 になりました。その頃は又、発声

音調に悩んで壁につき当り、挫折レ  
 がかつた時もありました。でも今で  
 はその頃が楽しく思ひ出されます。  
 又私は末熟ながら詩舞もさせてい  
 ただいておりますが、格調高い吟と  
 優雅な詩舞が一体となり演技される  
 のを觀賞させていたたいな折には、  
 只々感動のみでございします。吟も舞  
 も奥の深さをレミレミ感じさせられ  
 ます。吟と舞を通じて多くの友を得  
 今では吟舞共私の生きがひとなって  
 おります。健康である限り学び頑張  
 りますのでよろしく願ひします。  
 総伝・おめでとッ  
 加藤秀岳先生が九月一日付を以て  
 総伝・岳相となられました。

◎ 秋の行事予定

◇才82回全国吟道大会……十月三日(日) 九段会館

合吟コンクール  
 矢島悦子 佐藤ハツ 長野淑子  
 大石元枝 一之瀬保江 迫尻キヨ子  
 菅村静子 矢島佳子 池田敏子  
 高井道子

◇神奈川県本部主催吟行会……十月十日(土) 山陽方面

参加者  
 加藤岳相 沼田光岳 中村愛岳  
 黒崎李風 大屋正山 多田秀泉  
 行谷マツ 松野春風 綾部秋風  
 村田静風 佐竹梢風 田辺伯風  
 平山栄風 森田暁岳 森田嶺風

◇才38回県本部吟道大会……十月二十四日(日) 海老名市文化会館

合吟……武野の晴月……石川豊風 他九名  
 ……九月十三夜……齊田俊風 他九名  
 ……神州……竹石憲岳 他二十名

合吟コンクール  
 九月十三夜  
 関水スミ子 鈴木英子 相多ヨシエ  
 行谷トシ子 相多敏江 角田加数子  
 角田峯子 津久井好子 新倉マキ  
 大坪孝子

合吟コンクール  
 常盤楓を  
 抱くの図  
 三壁テル子  
 玄瀬五十子 綾部アキ 村田澄枝  
 西村昌子 臼井照子 磯村朋子  
 立沢千世見 阿部昌子 森はるみ

スライド吟詠  
 不識庵棧山を撃つスの図スに題す……松井正山  
 スライド吟詠  
 楠公子に別るるの図スに題す……小森香山

詩舞  
 花月吟 吟 中村愛岳 小形雄山  
 安孫子晴岳 橋川岳瑋

詩舞  
 笛吹く  
 舞 千葉香岳 綾部秋風 西村昌風  
 安田寿風 前野苑泉  
 吟 鹿島久岳 高橋正岳

独吟  
 山中門答……杉山雪風  
 千島慕情……加藤圭岳  
 秋日友に別る……三井雪岳

独吟 磯浜望洋楼に登る……………加藤岳相

絶句一題……………松井岳洋

才16回葉山町文化祭……………十一月三日(祭) 葉山町福祉会館

詩吟 詩舞の会……………十一月十四日(日) 逗子図書館ホール

才32回逗子市文化祭……………十一月二十八日(日) 葉山町福祉会館

詩吟 詩舞発表会……………(予定) 葉山町福祉会館

地区温習会……………(予定) 葉山町福祉会館

◎常任理事会ひらかる

一役員改選の件

一理事改選の件

一支部合併の件

一色A支部とC支部を合併 一色支部に

一理事会開催の件

と き。九月二十九日(水) 六時半より

ところ。桜山下会館

一、頑心会初吟会

と き。一月九日(予定)ところ。ビーチセンター

祖宗範の法要と合祀祭に参列して

佐久間 爽風

七月一日 木村岳風先生の三十周忌、宣子夫人の十七回忌御法要と、吟魂碑にまつらるる六十一名の合祀祭に遺族として岳風会本部よりお招きをいただき、詩吟発祥の聖地、諏訪市地藏寺の山道を敬虔な心で、一歩、また一歩と登って行きました。清浄の大自然の中に亭々とした赤松の梢からは、在リレ日の岳風先生の吟声がテープによってながれておりました。

根岸先生、同じ御遺族でハラルる千葉先生御夫妻の相伴をれて上村象風と私が参列、北海道、九州全国各地から参集された先生方と遺族で、墓前は溢れるほどになりました。練の衣の導師の読誦、全員の焼香と合吟、たくさんのお供花に墓域は華々き、盛大で荘厳な法要でございました。松井岳洋先生がお書き下さいました合祀者の氏名を、導師が読みあげ

られ、岳風先生の御筆蹟になる「吟魂」の碑に御魂は納まりました。頑心会からは、根岸清岳、竹村梅岳、蒲谷蒼岳、佐久間溪岳の四名が祀られました。詩吟をこの上なく愛した溪岳の喜ぶ顔が見えるようでございます。

四季の折々を蝉時雨の緑陰に、山中の月には、或は小雪舞う宵、また山桜咲く朝、祀られた方々は岳風先生と共に吟じ、樂しみ、松の吟声も和して、それは大合吟となり、地藏寺の山々へひびき渡ってゐることゝ徳び、信じておられます。

蝉鳴いて大榊より晴れ兆す 石渡桂風  
 水流る木下園より茗荷の香  
 鯉光つつつ滝へ群れ岳風忌 佐久間爽風  
 川上に新涼の鎌研ぐ音す 宮寺康山  
 犬五匹生れてよりの初秋かな 板橋昌山  
 山脈も近き畑も鰯雲  
 鳥渡る遠嶺も秋の昨日今日  
 百日紅門の外なる通り雨

(変 更)

7 下條亮岳 TEL 四三〇一を五三六三に

(訂 正)

226 浦修之輔を蒲に 全頁の對音を台和に

7 月号月報 119 号を 120 号に

8 月号月報 中三井先生文中に創刊以來十二年とあるを十年に訂正(ニヶ所)

(移 籍)

121 (堀内) 益子順風は一色B支部へ

(入 会)

522 (逗子A) 柴田操江 逗子市久木八十三番

523 ( ) 安田好子 鎌倉市雪ノ下三十四番

524 (堀内支部) 根岸啓子 葉山町長柄五十九番

(退 会) 八云 廿四番

167 (色C) 石井明山(念) 219 (木の下) 松尾秀山(念)

320 (銀詠) 竹内鐘泉 402 (唐木山) 飯島よし